

大会経費の増減について(V1との比較)

平成30年1月30日
 オリンピック・パラリンピック及び
 ラグビーワールドカップ推進対策特別委員会
 (単位：億円)

区分	V 1	V 2	増減	主な増(+)	主な減(▲)
ハード(会場整備)	6,800	7,050	250		
恒久施設	3,500	3,450	▲ 50	—	—
仮設等	2,800	3,150	350	<ul style="list-style-type: none"> 非競技会場の仮設整備費等の増<+300> 競技用構築物等の追加による増<+80> 都内会場・地方会場の費用計上による賃借料・営業補償の増<+440> 	<ul style="list-style-type: none"> 競技会場等の単価精査<▲280> コンディション&バリューエンジニアリングの取組(観客席数等の見直し)<▲100>
エネルギー	500	450	▲ 50	<ul style="list-style-type: none"> 追加種目・テストイベントが行われる会場における仮設電源設備の設置費等の増<+70> 	<ul style="list-style-type: none"> 会場毎の単価・サービス水準の見直し等による減<▲100> 追加3会場における電源設備の二重化について、発電機の活用等の要件緩和により不要<▲10>
ソフト(大会運営)	8,200	6,450	▲ 1,750		
輸送	1,400	500	▲ 900	<ul style="list-style-type: none"> バス運行時間の延長によるバス運行管理業務費の増<+10> 	<ul style="list-style-type: none"> 対象者を大会関係者のみとするとともに利用頻度等の精査により、公共交通無料化費用の見直し<▲310> 公有地賃借における無償化により、車両拠点箇所等の用地賃借料の減<▲290> 借上期間等の見直しによるバス車両費の減<▲100>
セキュリティ	1,600	1,000	▲ 600	<ul style="list-style-type: none"> 警備機器費の増<+290> ICチップの導入による入退場管理の強化に伴う増<+10> 	<ul style="list-style-type: none"> 通信インフラとの一部機能の共通化による警備用ネットワークの設計・敷設等の見直し・移管<▲650>
テクノロジー	1,000	1,050	50	<ul style="list-style-type: none"> 追加種目に係る放送用映像回線の整備費・利用料の増<+70> 通信インフラとの一部機能の共通化による警備用ネットワークの設計・敷設等の受入<+60> 	<ul style="list-style-type: none"> 地方会場の一部で放送用映像回線の地中化の見直し<▲60> 業務用無線の仕様の見直し<▲10> サービスレベルの見直しにより、情報システム、大型映像装置、携帯電話通信、通信インフラ、音響/映像装置、インターネットの経費の減<▲70>
オペレーション	1,000	1,150	150	<ul style="list-style-type: none"> IOCの知見を踏まえたスポーツプレゼンテーションの検討具体化に伴う増<+20> 競技運営体制の具体的検討を踏まえた競技運営費の増<+20> 会場演習を踏まえた会場運営の人員等による増<+80> 倉庫の賃借期間の増加等による増<+30> 	<ul style="list-style-type: none"> オリンピック・パラリンピックファミリーホテルの客室の仕様・室数の精査<▲30> 選手団向け旅費の単価精査による減<▲30>
管理・広報	900	600	▲ 300	—	<ul style="list-style-type: none"> 職員旅費等の減<▲30>
マーケティング	900	1,250	350	<ul style="list-style-type: none"> スポンサー収入の増加に伴い支払うロイヤルティ等の増加<+320> チケットのシステム開発費の増<+10> 	—
その他	1,400	900	▲ 500	—	<ul style="list-style-type: none"> 追加種目の具体化による減<▲300>
計	15,000	13,500	▲ 1,500		